

令和3年度 長崎県立大崎高等学校 経営方針

1. 長崎県教育方針

長崎県の教育は、国際交流の歴史が息づく郷土の伝統と文化を継承し、豊かな自然を守るとともに、命の尊さや個人の尊厳を重んじ、公共の精神を身に付け、我が国や世界の平和と発展に貢献していこうとする調和のとれた人間の育成をめざす。

学校・家庭及び地域住民は、「教育県長崎」の確立のため、自らの役割と責任を認識し、互いに手を携え、県民挙げて子どもたちを健やかに育むとともに、生涯にわたって学び続けることのできる社会の実現を図る。

とくに、教育に携わる者は、子どもたちに深い愛情を注ぎながら、その使命を自覚し、識見と指導力を高め、本県教育の充実と発展に努めなければならない。

2. 本県教育が目指す人間像

- 創造性に富み、自立した人間
- いのちを重んじ、心豊かでたくましい人間
- 郷土及び国家を担う責任を自覚し、その形成と発展に主体的に参画する人間
- 我が国と郷土の伝統・文化や自然を誇りに思い、これからの国際社会を生きる人間

3. 校訓

- 気魄 … どんな障害も物ともしない積極的な精神力
克己 … 自分のなまけ心や欲心・邪念に打ち勝つこと
英知 … 物事の本質を見通す、深くすぐれた知性

4. スローガン

「個性を活かし、たくましい人間力を育む、大崎高」

5. 育てたい生徒像

- (1) 憧れを持ちつつ、目標に向かって果敢に挑戦し、前進できる生徒
- (2) 自己の内面を見つめ、他人のことを思いやることのできる生徒
- (3) 心身共に健康で、豊かな教養と品性を備えた生徒

6. 努力目標

- (1) 授業力向上、学習と部活動・諸活動との両立支援
- (2) 進路実現に向けた細やかな指導
- (3) 人権を尊重する態度、人間力の育成
- (4) 幼小中及び地域との緊密な連携

7. 努力目標達成に向けた取組

(1) 授業力向上、学習と部活動・諸活動との両立支援

- ① 常に「よりよい授業」を目指し、授業改善に努める。また、研究授業や公開授業を定期的に行い、授業互観等を通して「授業力向上」を図る。
- ② 「発問の工夫」と「やりとりのある授業」を実践し、基礎・基本の定着及びその活用力の育成を図る。また、わかりやすさや授業の効率化を図るため、ICT 機器等を積極的に活用する。
- ③ 学力向上と家庭学習の習慣化を図るため、計画的な課題・小テストの実施など、粘り強く指導する。

(2) 進路実現に向けた細やかな指導、

- ① 計画的に上級学校や企業に関する情報を提供し、進路意識の高揚を図る。
- ② 面談を適宜行い、生徒を励ましながらか希望に沿った進路実現に努める。
- ③ 生徒の実態や必要に応じ、個別指導を計画的に継続して行う。

(3) 人権を尊重する態度、人間力の育成

- ① お互いを思いやり、協力しながら物事に取り組み成長できる支援を行う。また、学校行事や部活動の推進により、リーダーシップや連帯感を育む。
- ② 情報化社会における適切な言動と判断力を育成し、安全で安心なメディアモラルを養う。
- ③ 美化意識の高揚を図り、教育環境の保全と充実に努める。

(4) 幼小中及び地域との緊密な連携

① 同居連携型中高一貫教育の推進

- ア. 新教育課程変更に伴い、これまで以上に中高の教育課程を研究・理解し、各単元の相互関係を俯瞰した6年間の指導体系の確立を目指す。
- イ. 中高の教職員が一体となり、教科・科目や進路選択への興味関心を高めさせるとともに、学習習慣の定着を図る。
- ウ. 中高連携のもと、地域と一体となった行事に取り組み、地域の人々との触れ合いの中で、ふるさとへの愛着と誇りを持たせる。

② 地域活性化への貢献

- ア. 「地域あつての学校」との認識のもと、地域行事への参加等を通して地域貢献に資する。
- イ. 地域の文化・歴史・人に感心を持ち、地域が抱える課題やその解決策を考え発表できる態度を養う。
- ウ. 社会の一員として責任を持って行動できる成人・有権者意識の醸成を図る。